

# インフォメーション

## 伊万里市消防団 各分団のホープ団員を紹介しします

市消防団は、大切な人や大好きなまちを火災などの災害から守るため、日々頑張っています。  
現在、団本部や女性部、ラッパ隊に加えて、市内には11の分団があり、災害現場での活動はもちろん、災害を未然に防ぐための広報や警戒活動など、地域の安全・安心のために活躍しています。  
ここでは、その団員の中から、各分団のホープ団員を紹介しします。



**伊万里分団**



第1部 (団員)  
吉田 和博  
(木須東)

日々、自然災害がある中で、地元の消防団の先輩たちが、大雨の時に車を安全な場所に誘導されている姿を見て、少しでも地域に貢献したいと思い入団しました。人として成長し、地域の人が安全に暮らせるように、頑張っていきたいと思います。



**団本部**



女性部 (団員)  
加藤 奈津実  
(脇田)

令和3年4月に入団しました。コロナ禍で平常通りの活動ができない時期の入団でしたが、そのような中でもいざという時に即戦力になれるよう防災士の資格を取得しました。平時も非常時も地域の役に立てるよう、先輩の指導のもと、頑張ります。



**黒川分団**



第2部 (団員)  
松尾 太史  
(福田)

地元の先輩から誘われて、入団しようと決めました。  
災害のときなどは大変だと思いますが、やりがいを持って、地域のために活動したいと思います。



**大川内分団**



第3部 (団員)  
道竹 佑樹  
(福野)

消防団の先輩たちに誘われて、昨年入団しました。初めはどのような活動をしているのか具体的には分からない状態でした。消防団の皆さんの指導のもと、訓練を通して活動とその大切さを学んでいます。これからも地域に貢献できるよう頑張ります。



**大坪分団**



第8部 (団員)  
溝上 信  
(栄町)

引越したのを機に、部長からの声かけで入団しました。先輩たちの指導を受け、経験を積み重ねる中で、消防団の地域防災における重要性を知り、改めて共助の大切さを認識しています。地域の皆さんに、安心を与えられる団員になれるよう精進していきます。



大川分団

第1部 (団員)  
中尾 耕輔  
(川 西)



地元の消防団員からの勧誘を受けて入団しました。  
まだまだ分からないことも多いですが、災害発生などに備えて、少しでも力になれるように頑張りたいと思います。



南波多分団

第2部 (団員)  
加川 英仁  
(笠 樵)



周りに消防団員をしている人がたくさんいて、地元に戻ってきたら入団しようと思っていました。  
地域のために何か役に立ちたいという思いがあって入団しました。



波多津分団

第5部 (団員)  
谷崎 拓弥  
(田 代)



活動についてあまり知らず、優しい先輩たちに教わりながら、訓練や広報活動などに取り組んできました。  
少しでも活動に貢献できるように、頑張っていきたいと思います。



東山代分団

第5部 (団員)  
鬼塚 光司  
(滝川内)



地域に貢献したいという思いから入団しました。素晴らしい先輩たちとも出会い、日々勉強しています。地域の人たちが安全・安心に生活できるように励みます。



二里分団

第4部 (団員)  
久我 龍太郎  
(東八谷)



先輩たちの誘いを受けて、令和3年4月に入団しました。  
愉快的先輩たちに囲まれて、楽しく活動しています。  
意外といいぞ、消防団！



松浦分団

第3部 (団員)  
高木 英生  
(村 分)



新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか訓練などに参加できませんが、少しずつ訓練を頑張っていき、少しでも地元の人たちに認められるように精進していきたいと思います。



山代分団

第3部 (団員)  
中尾 明良  
(久原二区)



先に入団していた同級生に誘われて、平成29年4月に入団しました。入団するまでは、消防団の活動についてあまり知りませんでしたが、今はさまざまな経験をしています。まだまだ半人前ですが、地域のために頑張りたいと思います。

消防団にあなたの『力』を

市消防団の団員は、ふだんはさまざまな仕事を持ちながら、災害活動や火災予防広報など、伊万里市の安全・安心のまちづくりのため活動を行っています。

市民が安心して暮らすためには、自分たちの地域の安全を守る消防団の活動が欠かせません。

あなたの力が必要です。皆さんが安心して暮らせる伊万里市を目指して消防団に入団しませんか。

● 問合せ先 消防調整課消防団係

(☎) 23116

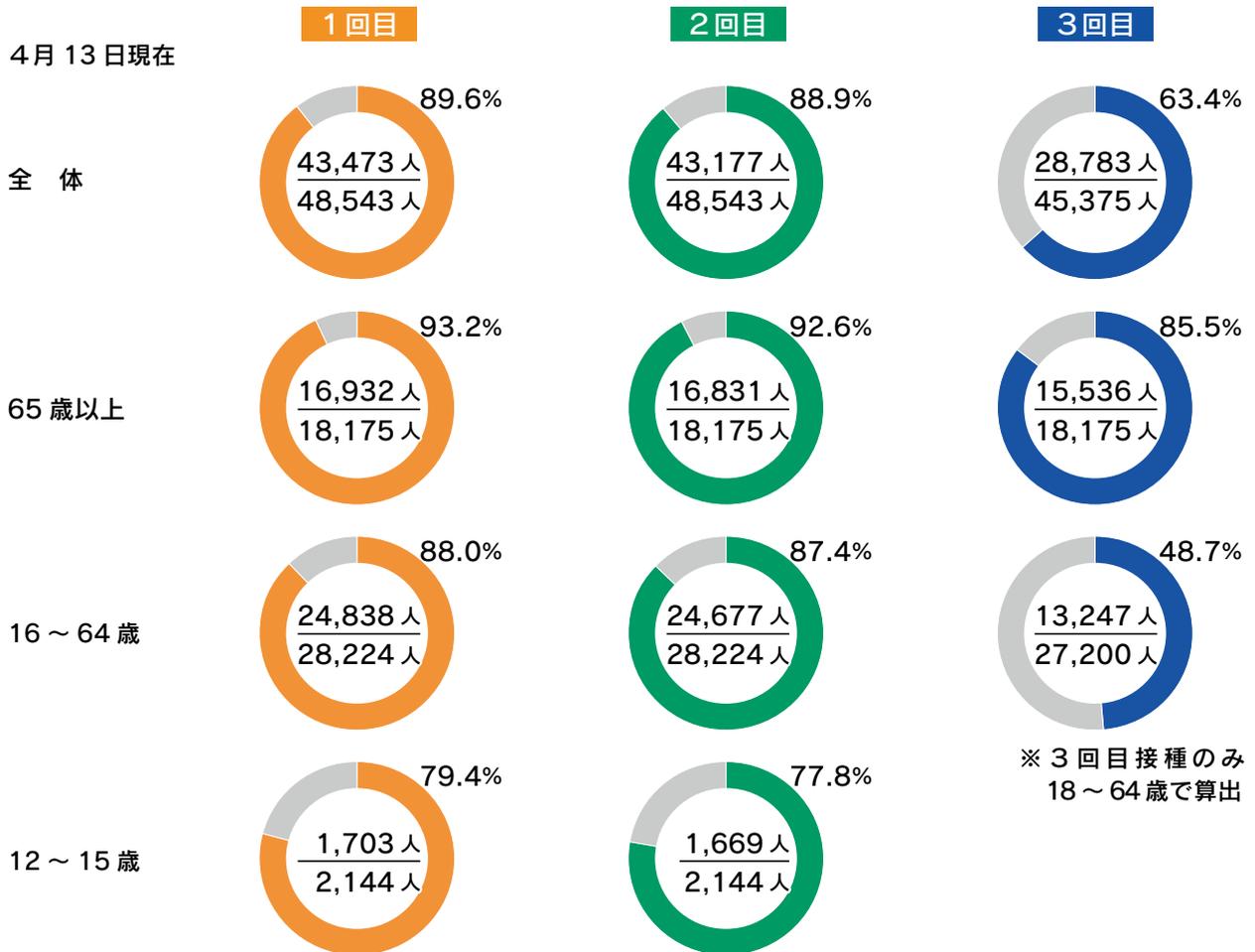


## 新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況と今後の予定

● 問合せ 新型コロナウイルスワクチン接種対策室 (☎ 4122)

市では、国の指示の下、新型コロナウイルスワクチンの2回目接種が完了した12歳以上の人を対象に、追加接種(3回目接種)を実施しています。

### 1 ワクチン接種状況



### 2 接種券の送付状況

接種券などは、1・2回目接種の優先順位に関わらず、市が把握する2回目接種完了日から6か月経過を目安に、経過日数が早い人から順次、住民票の住所に送付しています。申請などの手続きは不要です。

すでに接種券が届いていて接種を希望する人は、予約枠には限りがありますので、早めに予約してください。

※接種場所は1・2回目の接種場所に関わらず自由に選択できます。

### 3 3回目接種の対象者が12歳以上に引き下げられました

3回目接種の対象者が、12歳以上に引き下げられました。対象者には、2回目接種完了日から6か月経過を目安に接種券を送付しますので、届いたら予約を開始してください。

※選択できるワクチンの種類は、12～17歳はファイザー社製ワクチンのみです。モデルナは選択できません。

※職場や周りの人などへの接種の強制や、接種を受けていない人への偏見・差別につながる行為(人権侵害や誹謗中傷)などは、絶対にしないでください。

# 議会報告

## 令和4年第一回定例会

令和4年伊万里市議会第1回定例会が、3月1日から3月22日まで開かれました。今回は、令和4年度予算議案7件のほか、条例議案8件、一般議案1件、令和3年度補正予算議案5件、決議案1件、諮問1件の審議、また、一般市政に対する質問などが行われました。

審議の結果、提出議案などは原案のとおり可決、同意、異議ない旨答申されました。主な内容は次のとおりです。

### 条例議案

■市民センターの設置及び管理に関する条例及び公民館設置条例の一部を改正する条例

市民会館会議室を公民館の所管とするため、関係する2条例を改正したものです。

■子育て支援センターほっぼ条例及び市立保育園条例の一部を改正する条例

休日保育事業の実施場所を子育て支援センターほっぼから大坪保育園に変更するた

め、関係する2条例を改正したものです。

■税徴収等の特例に関する条例の一部を改正する条例

地方公共団体情報システム標準化に関する法律の施行に伴い、市税の徴収方法を集合徴収方式から単税徴収方式に移行するため改正したものです。

■病後児保育室すこやか条例の一部を改正する条例

病後児保育室すこやか条例の位置を変更するため改正したものです。



■留守家庭児童クラブ条例の一部を改正する条例

市外から就学する児童が、児童クラブに入所できるようになるとともに、夏季休業日の短縮により授業を再開した場合の8月の月額利用料を定めるため、改正したものです。

### 一般議案

■公平委員会委員の選任

委員 吉富伸克氏の任期が本年5月4日で満了することに伴い、新たに原口源嗣氏を選任するものです。

### 予算議案

■令和4年度一般会計予算

市長改選の年であるため、当初予算については主に扶助費や公債費、維持補修費などの義務的経費や経常的経費を計上し、投資的経費などの政策的経費については、東山代小学校・コミュニティセンター1等複合施設整備事業や中学校建設事業など、必要最小限の事業を選択し、予算編成を行いました。予算総額は277億円です。

■令和3年度一般会計補正予算(第14・15号)

一般会計の歳入歳出予算の総額に、それぞれ19億3407万7000円を追加し、補正後の予算総額は351億7474万円となりました。

※歳出補正の主なもの

▽ふるさと応援寄附募集事業 1億1399万円

▽バス交通支援事業 576万円

▽園芸農業機械・施設等整備支援事業 4億3643万円

▽木材加工流通施設等整備支援事業 4億9077万円

▽国見台体育施設改修事業 1億7835万円

### 決議案

■ロシアのウクライナ侵攻に強く抗議し、恒久平和を求める決議

ロシアによるウクライナへの侵攻に強く抗議するとともに、日本政府に対しては、国際社会と緊密に連携し厳格な対応をとること、ウクライナに対する手厚い人道的支援と在留邦人の安全確保に全力を尽くすことを求めたものです。

### 諮問

■人権擁護委員候補者の推薦

委員 川浪紀子氏の任期が本年6月30日で満了することに伴い、新たに江頭清隆氏を推薦したものです。

### 一般市政に対する質問

一般質問が3日間行われ、市政に関する諸問題について11人の議員から22項目の質問が行われました。

### 委員会報告

3常任委員会に付託された議案は、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定されました。また、2特別委員会から開催結果が報告されました。

# 伊万里市職員の人 事 異 動

## ◆退職者

令和3年度中の退職者 15人  
▽定年退職6人、早期退職3人、死亡退職1人、普通退職5人

※職種内訳：事務職7人、土木技術職2人、保健師1人、文化財担当職2人、技能労務職3人

## ◆3月31日付け退職

前田文博、多久島功、溝江龍史朗、船井向洋、前田由利子、中野美智代、佐々木康行、山口照子、東島新、小副川律子、大庭栞

## ◆採用職員

### 新規採用職員 20人

※職種内訳：事務職12人、社会福祉士2人、司書1人、文化財担当職2人、土木技術職1人、建築技術職1人、電気技術職1人



↑ 深浦弘信市長から辞令書を交付される新規採用職員

## ◆4月1日付け人事異動

異動者数 84人

※表記中の省略

(兼) 兼務、(併) 併任

### 【副市長】

▽副市長(事務取扱) 建設農林水産部長 泉秀樹

### 【部長級 4人】

▽総務部長(事務取扱) 秘書課長 樋口哲也▽(併) 総務部理事(出向) 伊万里・有田消防組合 中島徳夫▽上下水道部長 岩崎友紀▽教育部長(事務取扱) 教育総務課長 梶原貴英

### 【課長級 3人】

▽(併) 総務部消防調整課長(出向) 伊万里・有田消防組合 松本幸久▽健康福祉部福祉課長(兼) 障がい者生活支援センター所長 松尾利矢▽建設農林水産部農山漁村整備課長 鶴田龍也

### 【副課長級 5人】

▽健康福祉部松浦保育園長 永田恵子▽健康福祉部大川保育園長 町田史子▽建設農林水産部都市政策課付(副課長待遇) 土地開発公社派遣 小寺隆洋▽建設農林水産部都市政策課副課長(兼) 都市計画係長 前田政和▽教育委員

会学校教育課指導主事 前田友和

### 【係長級 10人】

▽(併) 総務部消防調整課消防団係長 永田誠▽健康福祉部福祉課障がい福祉係長(兼) 障がい者生活支援センター係長 佐藤拓郎▽健康福祉部大坪保育園主任保育士 松尾真由美▽健康福祉部子育て支援課付(係長待遇) 学校法人伊万里学園 伊まり保育園派遣 前田美和▽健康福祉部子育て支援課付(係長待遇) 社会福祉法人明志会 牧島保育園派遣 野村万里子▽建設農林水産部農山漁村整備課農地農村係副主幹 久保克明▽建設農林水産部道路河川課河川係長 大川内聡▽建設農林水産部伊万里湾総合開発・国道対策課港湾振興係長(兼) 国道整備促進係長 中島孝博▽教育委員会生涯学習課生涯学習係長(兼) 文化財係長(兼) 生涯学習センター副館長(兼) 青少年センター係長(兼) 市民図書館うちどく推進室副主幹 井本由美子▽伊万里・有田消防組合 古川幸浩

### 【主査・主任 9人】

▽健康福祉部大坪保育園(主任) 樋渡千恵▽健康福祉部大川保育園(主査) 前田成

美▽健康福祉部子育て支援課付(主査待遇) 学校法人伊万里学園 伊まり保育園派遣 野田真記子、辻育子▽健康福祉部子育て支援課付(主査待遇) 社会福祉法人明志会 牧島保育園派遣 大野恵充▽健康福祉部子育て支援課付(主査待遇) 社会福祉法人伊万里福祉会 南波多保育園派遣 崎田みずぎ▽建設農林水産部(主査) 川添和也▽建設農林水産部都市政策課付(主査待遇) 土地開発公社派遣 本良子▽建設農林水産部(主査) 田中寛子

### 【二般職員 32人】

▽(併) 総務部 澁谷剛史、松村直樹、松尾将志、沖田俊一郎、池田匡利▽健康福祉部 大坪保育園 河原汐莉、安藤万紀子、高橋夕貴▽健康福祉部松浦保育園 諸石陽子▽健康福祉部大川保育園 中尾和香子▽健康福祉部子育て支援課付(学校法人伊万里学園 伊まり保育園派遣) 地原有香、中村愛実、古川沙織、浦川莉奈、前田京子、筒井美香▽健康福祉部子育て支援課付(社会福祉法人明志会 牧島保育園派遣) 前山智香、平原由香▽健康福祉部子育て支援課付(社会福祉法人伊万里福祉会

南波多保育園派遣 草場圭子、大西朱美▽建設農林水産部 松田一気、田尻将平、橋本龍一郎、栗原蓮▽教育委員会 永元暢一、藤本雅美▽伊万里・有田消防組合 田代浩之、林翔流、松田英雄、石竹麗人、下平博康、大串栄佑

### 【新規採用職員 20人】

▽総務部 高木日和、井本凌輔、坂口雄亮▽総合政策部 川崎雅和、藤巻俊樹▽市民生活部(兼) 総務部(併) 教育委員会 前田日華里、長岡拓実、井手昭将▽市民生活部 古賀晴也、久保田遥佳▽健康福祉部 川本美雪、前田千晶、松尾美希▽建設農林水産部 大宅大輔、松尾宙、若松光太郎▽上下水道部 荒船健人▽教育委員会 野田千輝、長沼茜里▽教育委員会(併) 市民生活部 松本志歩

### 【再任用職員 7人】

▽(市民生活部) (併) 教育委員会 前田文博、力武善人▽(市民生活部) (兼) (総務部) (併) 教育委員会 多久島功▽(健康福祉部) 前田由利子▽(建設農林水産部) 溝江龍史朗▽(教育委員会) 佐々木康行、船井向洋

● 問合せ 総務課職員係

( ☎ 2127 )

## 防災行政無線を活用した訓練放送を行います



● 問合せ先 防災危機管理課防災危機管理係 (☎ 2130)

この訓練は、国が緊急情報の伝達手段である『全国瞬時警報システム（Jアラート）（※）』を全国的に自動起動させ、機器の稼働状況を確認し、緊急時にも情報伝達が確実に出来るようにするため実施するものです。今年度は、次の日時に訓練放送が行われます。この放送で市民の皆さんが避難などをする必要はありません。

日 時	訓練内容
5月18日（水）午前11時	Jアラート訓練
6月15日（水）午前10時	緊急地震速報訓練
8月10日（水）午前11時	Jアラート訓練
11月2日（水）午前10時	緊急地震速報訓練
11月16日（水）午前11時	Jアラート訓練
令和5年2月15日（水）午前11時	Jアラート訓練

※『全国瞬時警報システム（Jアラート）』とは、対処に時間的な余裕がない地震・津波などの自然災害や弾道ミサイルなどの緊急情報を、人工衛星を使って市町村の防災行政無線を自動起動させることにより、国から直接住民の皆さんに対していち早く伝達するシステムです。

● 広範囲での地震や本市での大雨などの気象条件により、訓練が中止される場合があります。

## まちの身近な相談役 障がい者相談員

● 問合せ先 福祉課障がい福祉係 (☎ 2156)

市では、障がいのある人や障がい福祉に関わりがある人などに、相談員を委嘱しています。個人のプライバシーなどは固く守られますので、一人で悩まずに、気軽に相談してください。

### 身体障がい者相談員



中島 譲 (大坪町)



犬塚 益己 (瀬戸町)



井手 輝彦 (二里町)



松尾 千代正 (立花町)



犬塚 照代 (瀬戸町)



犬塚 いさ子 (脇田町)



前田 敏彦 (大川内町)



西田 幸博 (東山代町)

### 知的障がい者相談員



志賀 正昭 (立花町)  
☎ 090-9565-0380



満野 厚美 (東山代町)  
☎ 080-1740-4334

### 定例相談会 (身体障がい)

- 期 日 原則、毎月第4木曜日 (令和5年2月を除く)  
5月26日 (木) 6月23日 (木) 7月28日 (木) 8月25日 (木) 9月22日 (木) 10月27日 (木)  
11月24日 (木) 12月22日 (木) 令和5年1月26日 (木) 2月16日 (木) 3月23日 (木)
- 時 間 午前9時～午後3時
- 場 所 伊万里市役所

## まちづくり出前講座を利用しませんか

● 問合せ まちづくり課まちづくり推進係 (☎2114)

皆さんの身近な生活に関わる行政情報を積極的に提供し、市民参加によるまちづくりを目指すため、『まちづくり出前講座』を行っています。皆さんが知りたいこと、聞いてみたいことなどをメニュー表から選んでください。市職員などが皆さんのところに出向きます。

- 対象  
市内に在住、通勤または通学しているおおむね 10 人以上の団体
- 時間  
午前9時から午後9時までの間で、2時間以内  
※土・日曜日、祝日を希望する場合は、担当課と協議して決定します。
- 場所 市内のみ  
※会場の手配は、受講する団体で行ってください。
- 講師料 無料

- 申込方法  
受講予定日の2週間前までに、受講申込書をまちづくり課に提出してください。ファックスやメールでも受け付けます。  
※申込書とメニュー表は、まちづくり課、各コミュニティセンター、市民図書館、市民センター、生涯学習センターにあります。また、市のホームページからダウンロードすることもできます。
- 申込先 上記問合せ、FAX 29575  
メールアドレス machizukuri@city.imari.lg.jp

### ◆ 令和4年度 まちづくり出前講座メニュー表 ◆

ジャンル	番号	講座名
市 政	1	市政の動きについて (市長講話)
	2	行政改革について
	3	第6次伊万里市総合計画について
	4	伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
	5	伊万里市の公共施設の在り方について
	6	考えてみましょう!『男女協働参画』
	7	伊万里市の財政について ～税金の使われ方から財政状況まで～
	8	ふるさと納税制度について
	9	もっと知ろう!伊万里のこと (地域資源の発掘・再発見)
	10	シティプロモーションとは? (情報発信について)
	11	市民との協働によるまちづくり ※地域づくり推進事業を含む
	12	伊万里市の多文化共生・国際交流について
	13	伊万里湾の開発について
	14	伊万里市の公共交通について
まち づ くり	15	道路の話
	16	都市計画の話
	17	下水道の話
	18	伊万里市の婚活推進事業について
福 祉 ・ 健 康	19	国民健康保険について
	20	後期高齢者医療制度について
	21	高齢者福祉について
	22	介護保険について
	23	認知症サポーター養成講座
	24	介護予防 (百歳体操など) について
	25	地域包括ケアシステムについて
	26	生活習慣病予防について (体成分測定、糖尿病・高血圧予防について)
	27	健康づくりについて (感染症予防など)
	28	子どもの体の発達について
	29	障害者総合支援法について
	30	生活保護制度について
	31	伊万里市の子育て支援の取り組みについて

ジャンル	番号	講座名
く ら し	32	伊万里市の防災について (自然災害編)
	33	伊万里市の防災について (原子力災害編)
	34	市税について
	35	消費者トラブル防止について
	36	国民年金について
	37	木造住宅の耐震化について
	38	水道の話
	39	防火教室
	40	救急教室
	環 境	41
42		ごみの分別とリサイクルについて
43		犬・ねこの飼育について
44		伊万里市の環境の状況
産 業 ・ 観 光	45	伊万里市の農業について
	46	伊万里市の林業・水産業について
	47	伊万里市の商工業について
	48	伊万里市の観光について
	49	農業者年金について
	50	農地の転用、売買、貸借について
教 育 ・ 文 化 ・ ス ポ ー ツ	51	子どもの生きる力について
	52	家庭教育について
	53	青少年の育成について
	54	人権・同和問題について
	55	伊万里の文化財
	56	伊万里の史跡めぐり
	57	伊万里の資料館見学ガイド
	58	図書館のデータベース活用方法
	59	家読について
	60	絵本の見せ方、読み方、選び方
	61	いきいき脳活!音読教室
	62	新体力テスト及びニュースポーツの指導
	63	SAGA2024国スポ・全障スポについて
選 挙	64	明るい選挙について
そ の 他	65	その他 (希望講座を相談してください)

※この講座は、苦情や陳情の場ではありません。  
※番号 32・33 は、6～9月の災害対応時期には講座ができない場合もあります。



森永製菓株式会社



伊万里市

連携事業第3弾

## 森永太郎と伊万里⑤

〜 太郎と伊万里の酪農 〜

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎ 221262

大正8年（1919年）、55歳の太郎は郷土である伊万里の畜産振興を願って、西松浦郡に酪農資金として私財1万円を寄付しました。当時のホルスタイン種の乳牛は、相場が雌牛1頭当たり120〜180円でした。寄付金を使って、千葉県から乳牛を約50頭購入し、希望者に抽選で配分しました。これをきっかけに、酪農熱が湧き上がり、西松浦郡酪農組合を設立。大坪村や牧島村、大川内村、二里村などの酪農農家あわせて、1日15石（約3ト）の牛乳を生産しました。

その後、西松浦郡酪農組合は、森永伊万里地方酪農組合となりました。大正11年（1922年）には、大坪村（現在の森永公園の位置）に森永製菓株式会社第八工場が建てられ、酪農はさらに盛んになって、1日

当たり24石（約5ト）の牛乳が生産されるようになりました。

昭和33年（1958年）、森永伊万里地方酪農組合に変わって、伊万里地方酪農協同組合が発足しました。戦後の学校給食により、牛乳の消費は拡大しましたが、市街地の拡大で酪農に適した土地が少なくなり、平成19年（2007年）に組合は解散しました。

昭和7年（1932年）に、太郎が二里村の酪農家に贈った書には、『乳育天下（乳は天下を育てる）』とあります。これは、酪農が日本の農村振興につながることに、国産乳製品の普及が、日本人の体格や体力増進につながるという信念を思わせるものです。

太郎は、常に故郷のことを思い、伊万里の酪農の歴史に大きな功績を残しました。

【引用資料】 偉人 森永太郎（平成26年発行）／市歴史民俗資料館

## 森永のお菓子レシピ

いちご牛乳キャラメルフォンデュ



### ● 材 料

#### ◆キャラメルフォンデュ

- 森永ミルクキャラメル 1箱（約60g）
- いちごジャム 150g
- 牛乳 500cc
- コーンスターチ 大さじ4
- 森永マリービスケット・森永チョコイス 適量
- いちごやバナナ、りんご、オレンジ、キウイなど好みのフルーツ 適量

#### ◆クリームチーズ白玉

- 白玉粉 100g
- 牛乳 60cc
- クリームチーズ 50g

### 【参 考】

森永製菓株式会社『森永天使のお菓子レシピ』

- ① はじめに、クリームチーズ白玉を作ります
  - ◆ボウルに白玉粉を入れ、牛乳を少しずつ加えてダマを潰すようによくこねます。
  - ※水に比べて牛乳では白玉粉の粉が残りやすいです。室温に戻したクリームチーズを加えて、耳たぶの硬さになるようにこねます。
  - ◆直径2cm位に丸め、熱湯でゆでて浮き上がってきたら、冷水に取って冷まします。
- ② 次に、いちご牛乳キャラメルフォンデュを作ります
  - ◆キャラメルは5mmの角切りにして、フルーツは食べやすい大きさにカットします。
  - ◆鍋に牛乳とコーンスターチを入れてよく混ぜながら溶かします。弱〜中火にかけてゴムベラなどで混ぜながら加熱します。沸騰してとろみがついたら、いちごジャムを加え均一に混ぜ、キャラメルも加えてさっと混ぜます。
- ③ フォンデュをクリームチーズ白玉や森永マリービスケット、森永チョコイス、フルーツなどにつけて食べましょう。



いちごジャムの代わりに、生いちごを使うとかわいい色のフォンデュに仕上がります。

● 問合先 情報政策課 ☎ 4313

## がん治療をされている人に医療用ウィッグや胸部補正具の購入費を補助します

●申請・問合せ 健康づくり課健康推進係 (☎23916)

がん治療に伴う脱毛や乳房の切除などにより、医療用ウィッグ(かつら)や胸部補正具を必要とする人に、購入に必要な費用の一部を補助します。

●対象者 次のすべてに該当する人が対象となります。

- ▷がんに係る医療を現に受けている人。または、過去に受けていた人
- ▷補助金の交付申請日から起算して過去1年以上引き続き市内に住所がある人
- ▷市税や国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料に滞納がない人
- ▷年度内に他の市町から、同種の助成を受けていない人

●補助金交付の対象 令和4年4月1日以降に購入した次のもの

※直接身に着けない付属品やケア用品(シャンプー、専用スプレーなど)は、対象外となります。

①医療用ウィッグ(全頭タイプ、部分タイプ、インナーキャップ)

※帽子やターバン、スカーフは対象外です。

②胸部補正具(補正下着、補正パッド、人工乳房)

※乳房再建術などによって体内に埋め込まれたものは除きます。

●補助金額

購入にかかった費用の①、②それぞれに2分の1で、上限は20,000円(年間)

【例】6万円の物を購入した場合は20,000円補助、3万円の物を購入した場合は15,000円の補助

※購入時の送料や手数料も費用に含まれます。

●申請期限 交付対象の物を購入した日の翌日から起算して1年以内

●申請書類

▷補助金交付申請書兼請求書

※市の窓口にあるほか、市のホームページからダウンロードすることもできます。

▷がんと診断されたことがわかる書類

※診療明細書やお薬手帳、治療方針計画などの写し

▷購入に係る領収書の写し

※支払った日付や金額の明細がわかるもの

▷通帳の写しなど振込先口座が確認できる書類



## 国民健康保険『人間ドック・脳ドック検診』

日帰り人間ドック・脳ドックの受診費用を助成します。通常の半額程度の負担で受診できますので、利用してください。

●受付開始日 5月9日(月)

●対象

◆市国民健康保険加入者

▽受診時に40歳以上74歳以下の人

※入院療養中の人は除く

▽国民健康保険税の滞納がない人

▽4月以降に人間ドック・脳ドック・特定健診を受診していない人

●申込方法

市役所に来庁して、手続きしてください。

※電話での申し込みはできません。

●持参するもの

▽国民健康保険被保険者証

▽マイナンバーカードや運転免許証などの顔写真が付いた公的身分証明書

●注意事項  
▽必ず特定健診と一緒に受診してください。

▽人数制限があります。早めに申し込んでください。

●申込・問合せ先

市民課年金保険係

(☎23153)

	人間ドック	脳ドック
自己負担額	11,180円	12,200円
実施医療機関	伊万里有田共立病院、山元記念病院、西田病院、松浦中央病院	伊万里有田共立病院、山元記念病院、西田病院
検査項目	血液検査、尿検査、心電図など15項目	頭部MRI、血液検査、尿検査など11項目

## 公私連携型保育所の開園式

4月から公私連携型保育所（私立保育園）として民営化し



↑開園式後の入園式で楽器演奏を披露するいまり保育園の年長児たち

た3保育園の開園式が、4月2・9日にありました。

今後、いまり保育園は敬徳高校を運営する学校法人伊万里学園、牧島保育園は楠久保育園を運営する社会福祉法人明志会、南波多保育園はみなみ保育園など4保育園を運営する社会福祉法人伊万里福祉会がそれぞれ運営を行います。市からは保育士を派遣するなど、公私が連携して子どもたちを育んでいきます。

## 市立滝野小学校・滝野中学校閉校記念式典

3月26日、滝野小・中学校体育館で閉校記念式典が開催されました。同校は4月から、



↑北原校長（左）が学校表札を松本定教育長に返納

東山代小学校と国見中学校に統合され、149年の歴史と伝統に幕を下ろすことになりました。

式典の中で、第33代校長を務めた北原成之校長は、「滝野の地域全体が教室であり、地域の皆さんが先生であった」と地域住民への感謝の気持ちを伝えました。また、児童生徒会長の加賀良和子さんは「少人数だからこそできる特別な体験があった」と、学校生活の思い出を述べました。

## 市街地の新たな公共施設を考える会を開催

3月23日、廃止した市民会館本館の跡地利活用と併せて周辺にある公共施設の整備の方向性について検討するために設置した、「市街地の新たな公共施設を考える会」の1回目の会議を開催しました。

この会の委員は、各種団体の代表者や伊万里地区まちづくり協議会から選出された市民などの10人。今後、市民会館跡地および周辺施設の整備の方向性につ

いて、意見を整理していく予定です。



↑2つのグループに分かれて、現状の整理と整備の在り方について議論

## 伊藤聡さん 市観光アドバイザーに就任

4月1日、日本航空株式会社伊藤聡さんが市の観光アドバイザーに就任しました。



↑伊藤さん（右から2人目）と市観光協会の早田文昭代表理事（同1人目）

伊藤さんはこれまで、国際線旅客の営業業務に関わられていて、フリーピンマニラに4年間駐在した経験があります。伊藤さんは「営業職の経験を生かし、伊万里に外からお客様が来ていただく仕組みをつくり、伊万里での消費につなげたい」と抱負を述べました。また、伊藤さんは一般社団法人伊万里市観光協会の事務局長兼総務部長を務められ、伊万里の観光の振興に力を発揮されます。

## 九州内田鍛工（株）ユースエール認定

九州内田鍛工株式会社は、若者の採用や育成に積極的で、若者の雇用管理（有給休暇の取得や時間外労働など）の状況などが優良な中小企業として、佐賀労働局から「ユースエール認定企業」として認定を受けました。

これは、「若者雇用促進法」に基づいて、平成27年10月から、厚生労働大臣が中小企業を対象に認定している制度で、県内では23社が認定を受けていて、市内では3社目の認定企業となります。



↑市内では3社目となる『ユースエール認定企業』の九州内田鍛工株式会社



## 農林水産省のつなぐ棚田遺産に認定

農林水産省の『つなぐ棚田遺産くふるさとの誇りを未来へ』に中田棚田（二里町）と川内野棚田（東山代町）が認定を受け、3月25日、市役所で認定証授与式がありました。これは、棚田地域の振興に関する取り組みを評価し、棚田地域の活性化などを目的としています。

中田の米で製造した日本酒『すみやま』のブランド化を図る活動や、川内野の黒米の農産加工品と農家民泊などの地



↑認定証を受け取った木寺清太さん（右から2人目）と幸松伝司さん（同3人目）

## 国土交通省の手づくり郷土賞に認定

3月16日、市民センターで、手づくり郷土賞国土交通省大



↑野崎代表（後列右から2人目）と関係者たち

臣認定証伝達式がありました。これは、地域特有の自然を活用し、地域の魅力や個性を生み出している団体を表彰することです。今回、駒鳴集落を守る会の松浦川を活用した水辺施設『ウォーターフロントこまなき』が選ばれました。野崎忠秋代表は、「今回の認定を糧に、今後も地域の活性化に取り組んでいきたい」と話されました。

## 子どもたちを交通事故から守るために

4月7日、伊万里地区安全運転管理者協議会が市内の小学校1年生全児童に、交通安全に関する冊子『まもろうね！6つのおやくそく』と『こつうつうあんぜんあいうえお表』、『ネームタグホイッスル』を500組寄贈しました。

新入学生は交通環境に不慣れで、交通ルールを覚えてもらうことで、悲惨な事故の犠牲者を出さないことを願っての寄贈で、伊万里特別支援学校にも贈られました。



↑松本定教育長（右から2人目）に贈呈した協議会役員の皆さん

## 鉛筆をたくさん削って、たくさん学んでほしい

3月17日、伊万里商工会議所女性会が未来を担う小学校1年生の各クラス用に、鉛筆削り器20個を寄贈しました。



↑女性会の大島会長（左から2人目）と三ツ溝久美子副会長（同1人目）

1年生の各クラス用に、鉛筆削り器20個を寄贈しました。となる同会の大島明美会長は、「小学校にアンケート調査を行ったところ、6年生まで使われていることが分かり、とても嬉しく思っている」と報告しました。また、鉛筆削り器を受け取った松本定教育長が、長年、子どもたちの育成に貢献する活動を続けられたことにお礼を述べました。

## リサイクルのワンポイント

～紙もリサイクルサンデーに出せます～  
生活ごみの中には、リサイクルできる紙類がたくさん混ざっています。  
一人一人のリサイクルに対する意識の向上が、ごみの減量化につながります。

● 問合せ先  
環境課リサイクル推進係（☎2145）

## こんな紙でもリサイクル

- 『雑誌・その他の紙』としてリサイクルできるもの  
ティッシュ箱などの紙箱、ポスター、カレンダー、包装紙、紙袋、ラップやトイレットペーパーの芯 など
- ▷ 細かなものは、こぼれ落ちないように紙袋に入れましょう
- ▷ ビニールや金属など、紙以外の部分は取り除きましょう
- リサイクルサンデーの実施日時や回収場所は、区長・地区役員に確認してください。



## 地元の生産物を食べて、元気に登校

交通安全啓発活動の一環として、4月4日、伊万里市農業協同組合から市内の小学校



↑田代組合長（中央）から贈呈された反射材付きの傘と下敷き

1年生に、反射材付きの傘509本を贈りました。また、朝ごはんを食べるごとの大切さを理解し、食への関心を持つてもらうため、伊万里市食のまちづくり推進会議と共同で作成された啓発下敷きも寄贈しました。

市役所を訪れた田代直樹代表理事組合長は、「コロナ禍においても、子どもたちには楽しい学校生活を送ってもらいたい」と、子どもたちが健やかに育つことを願いました。

## コロナ禍に世の中の灯りになれば

4月5日、竹内典子さん（松島）と岩永豊子さん（栄町）は市役所を訪れ、自費出版の絵本『モグモグちゃん』530冊を深浦弘信市長に贈呈しました。

新しい生活を始める小学校1年生は、希望に満ちた気持ちでいる中、苦手なことにも挑戦しなければなりません。苦手なことにも勇気を出して挑戦し、そばに応援している人がいることを伝えるため、小学校1年生の全児童に寄贈



↑絵本の文は竹内さん（中央）、挿絵は岩永さん（右）が担当して制作

しました。2人は、「この絵本は、家族と一緒に読んでもらいたい」と話しました。

## 市民を支える消防団を支えたい

3月28日、伊万里ケーブルテレビジョン株式会社（立花町）が、市消防団に新型コロナウイルス抗原検査ペンを寄贈しました。寄贈の数は消防にちなんで、119個です。これは、『さぎんSDGS私募債』を活用して行うもので、地域貢献のため、株式会社佐賀銀行伊万里支店（伊万里町）と共同で寄贈となります。

伊万里ケーブルテレビジョン株式会社の測上康児代表取



↑「活動が広がります」と話す力武博典市消防団長（左から2人目）

締役は、「市民の安全・安心につなげてほしい」と話しました。

## 子どもたちの教育に役立ててほしい

3月16日、株式会社サクセス（武雄市）の川口喜三郎代表取締役が、市に100万円



↑長年寄付を続けられている川口代表取締役（右から2人目）

を表取締役が、市に100万円を寄付しました。これまでに、家読や甲子園プロジェクトの推進、高齢者福祉の充実などのために寄付をしていて、今回が9回目となります。

市役所で行われた寄付の贈呈式で、川口代表取締役は「青少年育成のために活用してほしい。今後も続けていきたい」と、伊万里の子どもたちが健やかに育つことを願う思いを伝えました。

### ご寄付

ありがとうございます

次の方からご寄付をいただきます。

厚くお礼申し上げます。

※3月1日～31日受付分

（敬称略、希望者のみ掲載）

鉛筆削り器 20個

伊万里商工会議所女性会



新型コロナウイルス抗原検査ペン 119個

伊万里ケーブルテレビジョン株式会社（立花町）

株式会社佐賀銀行伊万里支店（伊万里町）

《福祉基金》  
2万円  
武重 豊（二里町大里）

《教育振興奨励基金》  
100万円  
株式会社サクセス（武雄市）

は篤志寄付です。

は篤志寄付です。

は篤志寄付です。